

学科 学年	S 3 C 3	科目 分類	歴史 HISTORY	講義 必修	21通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	黒川 幸男 KUROKAWA YUKIO	
概要	2年連続講義の後半部。前年度に世界の古代史とアジアの中世史・近代史を既習しているため、その学習成果を継承し、今年度はヨーロッパの近代史を前期に、帝国主義時代以降の世界の現代史を後期に学習する。常に日本の歴史を関連して学習する。歴史の必然性や偶然性を学び、認識力を深め判断力を養い教養を培う。史料講読を学習の基軸として、歴史に関する知識を深める。研究を奨励し、主体的学習を推進する。								
科目目標 (到達目標)	近代史と現代史の学習を通じて、歴史的思考力や国際的な視野を培い、歴史に主体的にかかわる意識を養うことを目標とする。								
教科書 器材等	高校世界史B改訂版、佐藤次高・木村靖二・岸本美緒 共著、山川出版社、最新世界史図説タペストリー、帝国書院、史料プリント								
評価の基準と 方法	定期試験70%、授業態度30%(課題レポート、研究発表を含む)。60点以上を合格とする。								
関連科目	地理、古典、英語								
授業計画									
参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)								
第1回		ガイダンス・時代区分・文明圏・アジア古代史・中世史概説(中国・インド)							
第2回		ヨーロッパ古代史・中世史概説(ギリシアローマ・ゲルマン・キリスト教)							
第3回		日本古代史・中世史概説(古墳・大和・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国・信長)							
第4回		ヨーロッパ近代史(大航海時代・ルネサンス・宗教改革)							
第5回		ヨーロッパ近代史(絶対主義・主権国家・重商主義)							
第6回		ヨーロッパ近代史(イギリス市民革命)							
第7回		×	定期試験						
第8回		ヨーロッパ近代史(資本主義・植民活動)							
第9回		ヨーロッパ近代史(産業革命)							
第10回		ヨーロッパ近代史(アメリカ独立・フランス革命)							
第11回		ヨーロッパ近代史(ウィーン体制・1848年・社会主義)							
第12回		ヨーロッパ近代史(19世紀国民国家形成・ドイツ統一・イギリス繁栄)							
第13回		ヨーロッパ近代史(19世紀アメリカ発展・ロシア近代化)							
第14回		課題レポート発表							
第15回		×	前期末試験						
第16回		江戸時代(幕藩体制・鎖国・産業・交通・享保・寛政・天保改革・教育・学問)							
第17回		幕末(ペリー来航・開国・開港・不平等条約・雄藩・尊皇攘夷・倒幕)							
第18回		明治維新(文明開化・四民平等・富国強兵・殖産興業・国民皆教育・条約改正)							
第19回		帝国主義(産業構造高度化・独占資本・金融資本)							
第20回		帝国主義(植民地主義・世界分割)							
第21回		日露戦争(国際対立歴史的転換・日英同盟・アジア民族運動覚醒)							
第22回		第一次世界大戦(帝国主義戦争・民族自決・ロシア革命・ヴェルサイユ体制)							
第23回		×	定期試験						
第24回		1930年代(世界恐慌・ブロック経済・ファシズム)							
第25回		第二次世界大戦(国民戦争・植民地解放戦争)							
第26回		太平洋戦争(昭和恐慌・満州事変・日中戦争・日独伊三国同盟・日米戦争)							
第27回		世界戦後史(冷戦・多極化・宗教戦争・ナショナリズム・テロ戦争・景気後退)							
第28回		日本戦後史(占領政策・戦後改革・高度経済成長・バブル崩壊・経済危機)							
第29回		歴史認識(世界平和・経済発展・日本国家像・安全保障・領土問題・資源政策)							
第30回		×	後期末試験						
オフィスアワー	金曜日に質問等に対応する。								
授業アンケートへの対応	基本事項の確認、発問回答の励行、読書の推進、研究成果の発表								
備考	なし								
更新履歴	20090316 新規								